



沈殿池から引抜かれた汚泥は、脱水・焼却などの処理をされたうえで、処分あるいはリサイクルされる。最近では、ガス化して発電等の燃料としたり、発酵させて肥料にするなど資源・エネルギーとして再生利用する箇所が増えている。

ポンプ場

処理場

汚泥処理施設

最初沈殿池

反応タンク

最終沈殿池

ポンプ場

沈砂池

消毒設備

放流

汚水

雨水

汚泥

後段の処理施設の負荷を軽減するため、比較的沈みやすい固形物を除去。

反応タンク内で空気と活性汚泥を下水に混入し、微生物の作用で、溶解している有機物を沈殿しやすい状態にする。

下水と活性汚泥の混合液は、最終沈殿池で沈殿物と上澄み液に分離され、上澄み液は消毒した後、川や海に放流される。沈殿物は一部を再び反応タンクに戻して活性汚泥として使い、残りは汚泥処理施設に送り処理。